



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社ヨータイ 上場取引所 東
 コード番号 5357 URL <http://www.yotai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 馬場和徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社業務部長 (氏名) 竹林真一郎 (TEL) 072-430-2100
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,022	1.2	1,166	43.1	1,219	56.0	834	59.7
29年3月期第2四半期	10,896	2.2	815	38.5	782	17.9	522	16.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 992百万円(161.1%) 29年3月期第2四半期 380百万円(△12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	37.95	—
29年3月期第2四半期	23.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,559	20,610	74.8
29年3月期	26,432	19,728	74.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 20,610百万円 29年3月期 19,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	5.00			
30年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	△4.7	1,300	△32.1	1,400	△30.5	950	△30.9	43.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	25,587,421株	29年3月期	25,587,421株
30年3月期2Q	3,609,321株	29年3月期	3,607,554株
30年3月期2Q	21,979,586株	29年3月期2Q	21,983,741株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済の状況は、企業収益や雇用環境の改善、堅調な設備投資に支えられ、いざなぎ景気に次ぐ長期の景気回復局面を迎えています。

一方、世界経済は、米国のトランプ大統領の政権運営に対する懸念や、欧州の金融政策動向、中国における環境規制強化、中近東や東アジア等の地政学的リスクの高まりなど、先行きが読みにくい状態で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様のニーズをとらえた新製品の開発及び国内外への積極的な営業展開、品質第一とした構造改革の推進と一層の生産効率化等に鋭意取り組んでまいりました。そして、中国子会社につきましては輸出の拡大、高付加価値品や不定形耐火物の拡販などの体質改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は110億22百万円と前年同四半期に比べ1億26百万円の増収となり、営業利益は11億66百万円と前年同四半期に比べ3億51百万円増加し、経常利益は12億19百万円と前年同四半期に比べ4億37百万円の増加となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、8億34百万円と前年同四半期に比べ3億11百万円の増加となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(耐火物等)

耐火物等事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は90億93百万円となり、前年同四半期に比べ1億51百万円の増収、セグメント利益は14億88百万円となり、前年同四半期に比べ3億6百万円の増加となりました。

(エンジニアリング)

エンジニアリング事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は19億29百万円となり、前年同四半期に比べ24百万円の減収、セグメント利益は3億6百万円となり、前年同四半期に比べ6百万円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、275億59百万円であり、前連結会計年度に比べ11億27百万円増加しました。これは主として、現金及び預金の減少16億99百万円等があるものの、原材料及び貯蔵品の増加17億72百万円、製品の増加5億3百万円、受取手形及び売掛金の増加2億38百万円、投資有価証券の増加2億32百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、69億48百万円であり、前連結会計年度に比べ2億45百万円増加しました。これは主として、買掛金の増加2億48百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、206億10百万円であり、前連結会計年度に比べ8億81百万円増加しました。これは主として、利益剰余金の増加7億24百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は74.8%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は36億1百万円となり、前第2四半期連結会計期間末より4億4百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は12億7百万円となりました（前第2四半期連結累計期間は14億23百万円の資金の獲得）。これは主に、税金等調整前四半期純利益12億18百万円、仕入債務の増加3億60百万円等があるものの、たな卸資産の増加23億30百万円、法人税等の支払額4億21百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の増加は、たな卸資産の増加が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は3億76百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比1億22百万円の増加)。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億78百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の増加は、有形固定資産の取得による支出が増加したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は1億15百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比5百万円の減少)。これは主に、配当金の支払額1億9百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の減少は、ファイナンス・リース債務の返済による支出が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、平成29年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,300,881	3,601,167
受取手形及び売掛金	8,868,190	9,106,951
電子記録債権	1,063,232	730,862
製品	1,996,905	2,500,369
仕掛品	461,031	510,901
原材料及び貯蔵品	1,553,041	3,325,552
その他	195,425	505,634
貸倒引当金	△4,726	△3,511
流動資産合計	19,433,981	20,277,928
固定資産		
有形固定資産	4,313,341	4,318,015
無形固定資産	44,647	41,130
投資その他の資産		
投資有価証券	2,543,110	2,775,480
その他	118,841	168,320
貸倒引当金	△21,724	△21,591
投資その他の資産合計	2,640,227	2,922,209
固定資産合計	6,998,216	7,281,355
資産合計	26,432,198	27,559,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,616,227	1,865,020
電子記録債務	1,422,187	1,363,092
未払法人税等	494,245	431,253
賞与引当金	—	311,800
役員賞与引当金	21,900	10,992
その他	1,466,162	1,245,703
流動負債合計	5,020,722	5,227,860
固定負債		
退職給付に係る負債	1,407,201	1,376,748
その他	275,538	344,183
固定負債合計	1,682,740	1,720,932
負債合計	6,703,462	6,948,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,750,465	1,750,465
利益剰余金	14,909,440	15,633,653
自己株式	△692,350	△693,086
株主資本合計	18,622,075	19,345,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	997,510	1,153,665
繰延ヘッジ損益	△47	2,996
為替換算調整勘定	236,028	224,590
退職給付に係る調整累計額	△126,830	△116,314
その他の包括利益累計額合計	1,106,660	1,264,938
純資産合計	19,728,736	20,610,490
負債純資産合計	26,432,198	27,559,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,896,130	11,022,943
売上原価	9,002,213	8,796,934
売上総利益	1,893,917	2,226,009
販売費及び一般管理費	1,078,765	1,059,631
営業利益	815,152	1,166,377
営業外収益		
受取利息	6,771	4,054
受取配当金	27,675	32,969
不動産賃貸料	10,205	8,913
その他	5,067	9,650
営業外収益合計	49,720	55,588
営業外費用		
支払利息	421	243
為替差損	80,882	518
その他	1,488	1,521
営業外費用合計	82,792	2,283
経常利益	782,080	1,219,681
特別利益		
固定資産売却益	33	246
特別利益合計	33	246
特別損失		
固定資産除却損	4,306	1,592
特別損失合計	4,306	1,592
税金等調整前四半期純利益	777,806	1,218,335
法人税、住民税及び事業税	285,730	394,421
法人税等調整額	△30,138	△10,197
法人税等合計	255,591	384,223
四半期純利益	522,215	834,112
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	522,215	834,112

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	522,215	834,112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,468	156,155
繰延ヘッジ損益	△1,068	3,043
為替換算調整勘定	△191,097	△11,437
退職給付に係る調整額	11,523	10,516
その他の包括利益合計	△142,173	158,277
四半期包括利益	380,041	992,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380,041	992,390
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	777,806	1,218,335
減価償却費	299,462	291,871
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	295	△1,174
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,555	△30,452
賞与引当金の増減額 (△は減少)	306,750	311,800
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,992	△10,908
受取利息及び受取配当金	△34,446	△37,024
支払利息	421	243
固定資産売却損益 (△は益)	△33	△246
固定資産除却損	4,306	1,592
売上債権の増減額 (△は増加)	△36,046	83,457
たな卸資産の増減額 (△は増加)	302,805	△2,330,193
仕入債務の増減額 (△は減少)	161,756	360,493
その他	△163,679	△680,331
小計	1,624,961	△822,536
利息及び配当金の受取額	34,446	37,024
利息の支払額	△421	△243
法人税等の支払額	△235,113	△421,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,423,873	△1,207,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△248,984	△378,736
有形固定資産の除却による支出	△33	—
有形固定資産の売却による収入	33	7,818
投資有価証券の取得による支出	△5,019	△5,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,004	△376,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△308	△735
配当金の支払額	△109,903	△109,599
その他	△9,805	△4,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,016	△115,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72,237	△1,531
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	977,615	△1,699,714
現金及び現金同等物の期首残高	3,027,894	5,300,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,005,509	3,601,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,941,642	1,954,488	10,896,130
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,941,642	1,954,488	10,896,130
セグメント利益	1,181,910	299,150	1,481,060

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,481,060
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△665,908
四半期連結損益計算書の営業利益	815,152

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	9,093,215	1,929,727	11,022,943
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,093,215	1,929,727	11,022,943
セグメント利益	1,488,388	306,090	1,794,479

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,794,479
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△628,101
四半期連結損益計算書の営業利益	1,166,377

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。